【わくわくワークス】
“たてばんこ（野口謙蔵「梅干」）”の作り方

おうちでつくる紙工作「わくわくワークス」の作り方紹介、今回は「たてばんこ」の作り方です。

“立版古(たてばんこ)”は、江戸時代にはやった、歌舞伎の場面や浮世絵などを机の上サイズの小さな立体にして楽しむおもちゃ絵です。いくつものパーツを切りぬいて組み立てると、ジオラマ的な立体場面が誕生します。

「わくわくワークス」では、滋賀県立美術館の館蔵品を使った立版古を提供しています。ここで制作するのは、東近江市出身の洋画家・野口謙蔵(のぐち・けんぞう)さんが描いた「梅干(うめぼし)」を３Ｄにしたものです。夏の暑い日、おうちのお手伝いで梅干をほしている女の子のもとに、きれいに着飾ったお友だちが２人、遊びにやってきました。さあ、この３人は一体これから、何をするのでしょうか？

右の写真、左側が野口謙蔵さんが描いた「梅干」、右側がそれを３Ｄ化した「たてばんこ」を組み立てたところです。

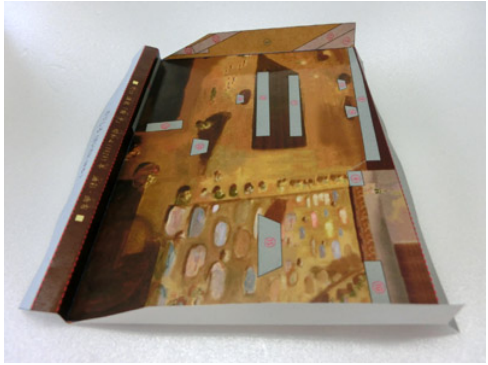
まずは「３Ｄめいが たてばんこ・野口謙蔵」の型紙を滋賀県立美術館のホームページからダウンロードしてください。３枚セットです。ダウンロードした型紙は、家庭用のカラープリンタで印刷してください。プリンタが無い場合は、ダウンロードした PDF を USB メモリなどに収めてコンビニエンスストアに行けば、カラーコピー機で印刷できます（有料です）。またスマートフォンでダウンロードした場合は、各コンビニが勧めるアプリを入れれば、スマートフォンから直接、コンビニのカラーコピー機で印刷できます。詳しくは各コンビニエンスストアにご相談ください。

【３Ｄめいが たてばんこ　野口謙蔵】の組み立て方

「たてばんこ」をきれいに作るのは、かなりむずかしいです。小学校４年生よりも小さい方は、大人といっしょに作りましょう。

①まず、型紙１の「はいけい」を切りはなします。２パーツあります。

②２つのパーツをつなぎ合わせて、組みたてます。「やまおり（赤い線）」と「たにおり（青い線）」をまちがえないでください。



③続いて、型紙２の中にある「じめん」パーツを切りぬいてくみたてます。

④「じめん」のいちばん下のぶぶん（上の写真では左がわ）は、のりでしっかり、うらおもてをはり合わせます。左の写真をよく見てはってください。

⑤組みたてた「じめん」を、「はいけい」にはります。のりしろは３かしょありますが、一度に３つともはろうとせず、〇数字（①、②、③のように〇の中に数字があるもの）を１からじゅんばんに、ひとつずつはってゆくと楽にはれます。なお、のりをつける面にちゅういしてください。
赤い〇数字があれば、数字のある面にそのままのりをつけてはります。青い〇数字のばあいは、数字のある面のうらがわにのりをつけてはってください。

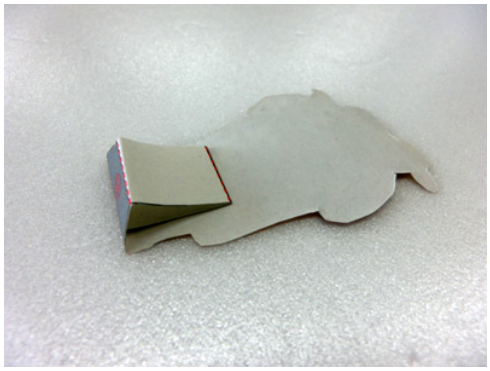
⑥左の写真は、「はいけい」に「じめん」を取りつけたところ（上から見た状態）です。「じめん」のうしろから手を入れることができるように、“そこ”の部分はまだ、のりづけしません。

⑦つぎに、型紙２から「門とへい」を切りぬきます。「門のひさし」もわすれずに切って、「門とへい」にはりつけてください。

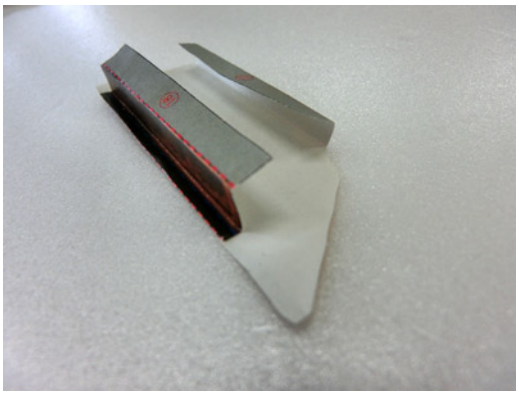
⑧「門とへい」のまん中に「※しるし」がついた白い部分がありますが、ここは切りぬいて“まど”のようにします。けれども切るのはとてもむずかしいばしょなので、ちゅういして切ってください。どうしても切れない時は、切らずにそのままでもいいですよ。

⑨「はいけい」と「じめん」に、「門とへい」をはりつけたところ（上から見た状態）。まん中でかぎ型にまがっているのがわかりますか？

⑩型紙２と３にある、残りのパーツをすべて切りぬいてくみたてます。



⑪「女の子」や「花」「つぼ」などは、足を組みたてて「じめん」の上に立たせてはります。足は上の写真のように組みたててください。クルッとひとまわりするのがポイントです。



↑

⑫「うめぼし(をならべたむしろ)」は、上の写真のように組みたてます（うらから見たところ）。のりでうらおもてをはり合わせるぶぶんがあるので、ちゅういしてください。

⑬組みたてたパーツを、「じめん」の上にじゅんにはってゆきます。奥から手前に、ひとつずつ、〇数字の番号じゅんにはってゆくと良いでしょう。「じめん」のうらに手をまわして、うらとおもての両方からおさえると、しっかりはりつけることができます。

⑭「じめん」のいちばん下に「つぼいけ」をはりつけます。上の写真のようになるので、よく見てはってくださいね。

⑮はらずにのこしてあった、「はいけい」の“そこ”をのりづけします。きれいな“はこ”のようになります。

⑯さいごに、型紙３の「うしろがわ」を、「はいけい」のうらがわにクルリとまくようにはります。のりをぜんたいにつける必要はありません。はしっこにだけのりをつけて、ズレないようにちゅういぶかく、ゆっくりとはってください。もしもズレてしまったら、はみ出たぶぶんをハサミで切りとってもだいじょうぶですよ。

⑰これで「たてばんこ」は完成です。

上の写真は、たてばんこを上からのぞきこんだところ。

右の写真はたてばんこのうしろがわ。つくえの上において、インテリアとして楽しんでくださいね。